



「アジアモンスーン機構に関する国内ワークショップ」のお知らせ

気象庁気象研究所では科学技術庁の海洋開発及び地球科学技術調査研究促進費による「アジアモンスーン機構に関する研究」を海上保安庁、気象庁、防災科学技術研究所、通信総合研究所、遠洋水産研究所と共同でまた中国とも共同で、1989年度から10年間の計画で行っています。この研究では①大気・海洋・陸域間相互作用の諸過程に関する観測・解析研究、②数値モデルによる大気・海洋・陸域間相互作用の実験研究、③大気・海洋・陸域間の相互作用に関する総合研究の3つの課題が行われています。

今回、「アジアモンスーン機構に関する研究」によって得られた成果を交流し、今後どのように発展させるか、また残された課題や現在の到達点から見て今後追求すべき研究課題は何かを議論、まとめてゆくために、科学技術庁と気象研究所の共催で国内ワークショップを開催します。発表はこの「研究」に関係している方に限らせていただきますが、アジアモンスーンの研究

に携わっている方にも広く参加していただいて意見交換の場にしたいと思います。なお登録料、懇親会（6日の夜）は共に無料です。

記

日時：平成9年11月6日10：00～7日16：00

会場：気象研究所講堂

参加申込み：

参加される方は早めに氏名、所属、住所、電話、FAX、E-mailをお知らせ下さい。

問い合わせ先：

「アジアモンスーン機構に関する研究」事務局

〒305 つくば市長峰1-1

気象研究所気候研究部 山崎信雄

TEL：81-298-53-8668

FAX：81-298-55-2683

E-mail：nyamazak@mri-jma.go.jp

編集後記：今更申し上げるまでもなく、「天気」は会員の皆さんからの投稿で成り立っています。

私が「天気」の編集に携わるようになってから1年あまり、これまで主に印刷する直前の校正作業を担当してきました。校正作業の際には投稿者からの原稿と印刷業者による校正刷りを一字一句見比べながら作業を進めるのですが、中には自由な書式で投稿される会員もあり、これを「天気」の書式と見比べるのに苦労する場合があります。

たとえば、投稿規定ではワープロ等で原稿を書く際には1ページに24字×44行で、とお願いしております。この文字数はそっくりそのまま印刷時の半ページ分に相当し、編集、校正作業の負担を軽減するのに大いに

助かっています。また文字数を合わせるのも簡単で、印刷ミスも格段に発見しやすく、よりスマートな最終稿に仕上がります。

しかしながら投稿規定からややずれた原稿を見ながらの校正作業になりますと、原稿と校正刷りを見比べるのにどうしても手間が余計にかかり、その分印刷ミスが多くなってしまいます。

最近は原稿をワープロ等で作成する方がほとんどです。ワープロ（ソフト）の種類によっては投稿規定通りの印字ができないものもあるかもしれませんが、できる限り投稿規定に従った書式での投稿をよろしくお願いします。編集委員としても、極力ミスのない「天気」発行を目指したいと思います。（木村陽一）